

NEWS TOPICS

堺環濠都市北部地区に、国の登録有形文化財が新たに1件増えました！

昨年は、本地区の桜之町西にある江戸時代後期の町家「旧十八屋(現 櫻館)」が国の登録有形文化財に登録され、本地区の登録文化財は2件となりました。もう1件は、堺市立町家歴史館の「清学院」です。

本地区には多くの文化財が存在しますが、有名なものでは、国の重要文化財の山口家住宅(市立町家歴史館)、市の指定文化財の井上関右衛門家住宅(鉄砲鍛冶屋敷)があります。しかし、何らかの指定等を受けている文化財は残念ながら多くはありません。大阪府の「大阪まちなみ百景」に選ばれている北旅籠町西の町なみを代表する薫主堂や、江戸時代の石橋である極楽橋(協議会ニュース10号の表紙)等も何の指定も受けていません。

また、本地区の南エリアにも、寺町界隈の見るべき寺院建築をはじめ、大きな町家建築など未指定の重要な建築物が今も残されています。正しく、本地区は、貴重な未指定文化財の宝庫といえるでしょう。



「登録有形文化財」の登録プレート。プレートには、「この建造物は貴重な国民的財産です」とあります。



「櫻館」の外観。かつてこの地域には、写真のような、格子とその前に丈の高い「駒寄“こまよせ”(木の柵)」を備えた町家が建ち並んでいました。

堺 環濠都市 NEWS [ニュース]

北部

歴史的まちなみを
未来に活かすため

昨秋も、イベント週間開催！
コロナ禍を乗り越えよう！

vol.27

INFORMATION

▶ **月いちバザー** 新年1月にバザーを開催します。「残り福 売りつくしバーゲン」です。是非、お越し下さい！

2021年1月10日(日) / 11日(月) | 場所: 堺町家案内所(北旅籠町大道西・内田家住宅1F) 時間: 11:00~16:00 ※なお、バザーは、2月・3月はお休みです。

▶ **「ひな飾りめぐり」参加のお知らせ**

2021年も、3月3日から4月3日まで「七まちひな飾りめぐり」のイベントが開催される予定です。本協議会が運営する「堺町家案内所」も2017年の第7回目から、毎年参加していますが、今年も参加予定です。

毎週木曜日の13:30~16:00が、公開時間ですが、期間中は公開日を追加することも検討中です。詳しくは、今後発行されるチラシをご覧ください。



昨年の案内所のひな飾りの一部

※予定は変更になることがあります。

▶ 協議会へのお問い合わせはこちら
堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会
TEL 072-228-0953 [志賀]
MAIL info@sakaimachinami.jp

▶ 「まちなみ修景補助制度」へのお問い合わせはこちら
堺市 建築都市局 都市計画部 都市景観室
TEL 072-228-7432
FAX 072-228-8468 担当: 福島、加賀山、田中

今号の表紙

今号の表紙も、前号で解説した元禄堺大絵図の模写本の一部で、現在も寺町と呼ばれている地域の内、柳之町、九間町、神明町の東の部分です。本絵図では、寺社の部分がピンク色に塗られていますが、南に位置する「北御坊」つまり、本願寺堺別院(御坊さん)から、そのすぐ北側に並ぶ十輪院、覚応寺、万福寺、浄福寺は現在とほぼ同じ場所に位置しています。ただ、十輪院はその門の位置が西向きのようなので、その十輪院と並ぶ経王寺は広大な敷地ですが、今はその大部分と東の土居川までの一部地域が、堺市立錦小学校の敷地となっています。また、絵図の西端には、大道筋(紀州街道)の一筋東の「東六間筋」の名前も見えます。なお、この模写本は、元の地図を40枚以上の部分に分けて描いているので、地図上で色のついていないところが、それぞれの地図が繋がる部分になります。



「元禄堺大絵図模写本」【部分】(堺市博物館蔵)

前号NEWS発行から
現在までの進捗情報

町なみ再生イベント週間(10/28~11/3)を開催しました!

10月28日から11月3日まで、町なみ再生イベント週間を開催しました。例年通り、堺町家案内所における展示と、「昔・町なみ歩こうイベント」を、七まち町家会の町家公開とタイアップして開催しました。

▶展示「地域みなさんと、ともに学ぶ、歴史的風致(ふうち)と文化的景観」

昨年は、京都工芸繊維大学文化的景観リサーチプロジェクト調査が開始された年でもあり、当大学調査チームのパネル展示と合わせて、本協議会の活動の基盤である、いわゆる「歴史まちづくり法」の「歴史的風致」という概念、および「文化財保護法」における「文化的景観」について、再度学び直すことをめざして展示を行いました。

また、コロナ払いを願い、昨年の地蔵盆の大行灯(1体)の実物も特別展示しました。



▶昔・町なみ歩こうイベント

今回は、期間中の4日間(10月29日・30日、11月1日・3日)本地区内を日替わりメニューで、ミニまち歩きをしました。例年のように、七まち町家会の公開町家や修景された町家の内部の見学や、まち歩き限定で訪問した町家など、多彩なメニューで大変好評でした。11月3日には、京都工芸繊維大学の清水先生にも御参加いただき、南エリアの寺町まで足を延ばしました(本号の表紙の絵図の部分まで)。



南へ向って、寺町まで。

公開連続参加の修景町家。中は住宅。

公開初参加の修景町家。中はカフェ。

京都工芸繊維大学 文化的景観リサーチプロジェクトの 第1回目の調査が実施されました!

10月3日(土)午前10時に清水先生を始めとする大学の先生方3名、学生さん8名と本協議会の役員2名が七道駅で集合。なお、当日の調査地域は北部地区北エリアの大道(紀州街道)より西の地域です。午前中は全員いっしょに町歩きをし、江戸時代の町割りを確認しながら北旅籠町大道の内田家に到着、内田さんのご案内で内田家の見学をさせていただきました。その後、桜之町まで引き返し、各自持参した昼食を「櫻館」でとった後、午後からは、また、北旅籠町に戻り、伝統産業班・都市景観班の2班に分かれて行動しました。

伝統産業班は薫主堂・朝日堂、都市景観班は朝日堂・鉄砲館・浅香家をそれぞれ見学した後、両班は藤井刃物で合流して内部を見学、伝統産業の仕事に就いた藤井刃物の若手職人さん3人を中心に、インタビューをしました。

その後、協議会の会合等も行われる北旅籠町のギャラリー「ろおじ」で、調査班全員が、当日の調査のまとめと今後の調査への展望を話し合われました。先生方も学生さんも大変熱心で、次の調査への期待がふくらみました。ただ、現在の新型コロナ感染拡大で、将来が見通せない状況です。今後、早期にコロナが終息し、引き続き調査が実施できるようになることを祈るばかりです。



内田家見学風景



町なみ再生イベント週間で展示された
京都工芸繊維大学調査チーム作製のパネルの一部



薫主堂・北村さんの解説で、手づくり線香工房の見学

—— 堺環濠都市北部地区の景観形成に向けた説明会・勉強会が開催されました! ——

これまでの協議会ニュースでも、しばしば、景観規制の問題を取り上げてきましたが、新型コロナ感染拡大の影響もあり、今年は、残念ながら、その後の進展は見られませんでした。また、ニュース24号でも触れたような、昨年11月に実施されたアンケート結果を踏まえた、堺市と「堺環濠北部の町なみを考える会」との協働の説明会も、まだ実現していません。

そのような状況下で、「考える会」が、アンケートに協力していただいた地権者の方々に向けて、去る11月7日・8日の2日間に専門家をお招きして、「説明会・勉強会」を開催されました。

景観規制の問題は堺市と「考える会」が中心となり、本協議会の場で住民の皆様と共に、様々な取り組みをしてきたことから、今後とも、この問題については、ニュース等でお知らせして行きたいと思っております。